

第9回 四大学連合文化講演会

環境・社会・人間における「安全・安心」を探る
—安全で安心の出来る社会—

学術研究の最前線をやさしく解説する

2014 10/10 **金** 13:00 ~ 16:30
一橋講堂 (東京都千代田区一ツ橋2-1-2)

PROGRAM	12:20	開場
	13:00~13:10	開会挨拶 東京外国語大学 学長
	13:10~13:20	来賓挨拶 文部科学省
	13:20~14:00	一橋大学 経済研究所 教授 後藤玲子 「災厄と保障の3(スリー)D(ディメンジョン)—経済、社会、そして政治」
	14:00~14:40	東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所 教授 河合香吏 「東アフリカ牧畜社会における民族集団間の関係—家畜の略奪と武装解除をめぐる」
	14:40~15:00	休憩
	15:00~15:40	東京医科歯科大学 難治疾患研究所 教授 木村彰方 「心不全・突然死の遺伝子」
	15:40~16:20	東京工業大学 原子炉工学研究所 准教授 松本義久 「放射線からDNAを守る仕組み」
	16:20~16:30	閉会挨拶 東京医科歯科大学 学長

講演者紹介



一橋大学経済研究所 教授
後藤玲子 ごとうれいこ

1981年一橋大学法学部卒業後一橋大学社会学部助手、高校の専任教諭を経て、一橋大学経済学部にて修士入学。一橋大学大学院経済学研究科修士課程終了後、国立社会保障・人口問題研究所、立命館大学大学院先端総合学術研究科を経て2013年より一橋大学経済研究所教授。主な単著に『福祉の経済哲学』(ミネルヴァ書房近刊)、『正義の経済哲学』(東洋経済新報社、2002)など。

URL: <http://www.ier.hit-u.ac.jp/Japanese/faculty/gotoh.html>



東京医科歯科大学 難治疾患研究所 教授
木村彰方 きむらあきのり

1953年生まれ。1978年九州大学医学部卒業、医師国家試験合格。1983年同大学院医学研究科(内科系専攻)修了、医学博士。同年同大生体防御医学研究所助手に採用。同年よりパスツール研究所免疫部門に留学し、1986年帰国後、同研究所助教授を経て、1995年3月より現職。専門は人類遺伝学。

URL: http://www.tmd.ac.jp/mri/mri-mpath/index_j.html



東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所 教授
河合香吏 かわいかおり

1961年生まれ。京都大学大学院理学研究科博士後期課程修了(理学博士)。静岡大学人文学部助教授、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所助教授、同准教授を経て、2014年より現職。専門は人類学、東アフリカ牧畜民研究。著書に『野の医療—牧畜民チャムスの身体世界』、編著書に『生きる場の人類学』、『集団—人類社会の進化』、『制度—人類社会の進化』、『Groups: The Evolution of Human Sociality』など。

URL: <http://www.aa.tufs.ac.jp/ja/staff/list1/kawai>
URL: <http://human3.aa-ken.jp/>



東京工業大学 原子炉工学研究所 准教授
松本義久 まつもとよしひさ

1970年佐賀県生まれ。1998年3月東京大学大学院理学系研究科生物化学専攻博士課程修了、博士(理学)。1996年5月~1998年3月日本学術振興会特別研究員、1998年5月~2006年11月東京大学大学院医学系研究科助手、2006年12月より現職。平成17年度日本放射線影響学会奨励賞、平成19年度東京工業大学挑戦的研究賞、平成23年原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブ若手表彰を受賞。専門は分子・細胞放射線生物学。

URL: <http://www.nr.titech.ac.jp/~yoshim/>

■定員: 500名 (入場無料) ■締切: 2014年9月26日(金)

■お申込・お問合せ先

東京工業大学 すずかけ台地区事務部総務課総務・研究所グループ

〒226-8503 横浜市緑区長津田町4259 J2-1 TEL: 045-924-5902 FAX: 045-924-5970

E-mail: suzu.som@jim.titech.ac.jp URL: <http://www.sok.titech.ac.jp/kouenkai2014/>

※参加ご希望の方は、インターネット又は葉書・FAXにて郵便番号・住所・氏名・年齢・所属先・電話・メールアドレス等を明記し、2014年9月26日(金)必着(先着順)で、上記宛先までお申込下さい。(※定員に達した場合、締切日前にお申込を締切らせていただきます。)

東京医科歯科大学・東京外国語大学・東京工業大学・一橋大学は、2001年3月に四大学連合憲章を結び、真に国際競争に耐えうる研究教育体制を確立すべく、たゆまぬ努力を続けてまいりました。その努力の一環として、世界最先端の研究を強力に推進してきております。そして、この13年間に世界第1級の研究成果を数多く上げてまいりました。第9回の今回も、学術研究の最前線をわかりやすく解説します。

講演要旨

「災厄と保障の3(スリー)D (ディメンジョン) — 経済、社会、そして政治」

一橋大学経済研究所 教授 後藤玲子

自然科学は予見可能性に向けて尽力してほしい。人文科学は死者の無念を再現してほしい。それらの力を借りて社会科学は「結果の保障」に全力を尽くことになるだろう。運と偶然と外部性に満ちたこの社会だからこそ、3つの次元における「公共的相互性」がリアルになってくる。「現実的ユートピア」を語りたい。

「東アフリカ牧畜社会における民族集団間の関係 — 家畜の略奪と武装解除をめぐる」

東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所 教授 河合香吏

東アフリカ諸国の「辺境」に位置する乾燥・半乾燥といった劣悪な環境下に生きる牧畜民たちは、民族集団間で頻りに家畜の略奪をしようすることから「好戦的な牧畜民」として知られてきた。講演では、ウガンダの事例から、武器の近代化により過激化する集団間の関係を、政府による近年の武装解除政策にもふれながら紹介する。

「心不全・突然死の遺伝子」

東京医科歯科大学 難治疾患研究所 教授 木村彰方

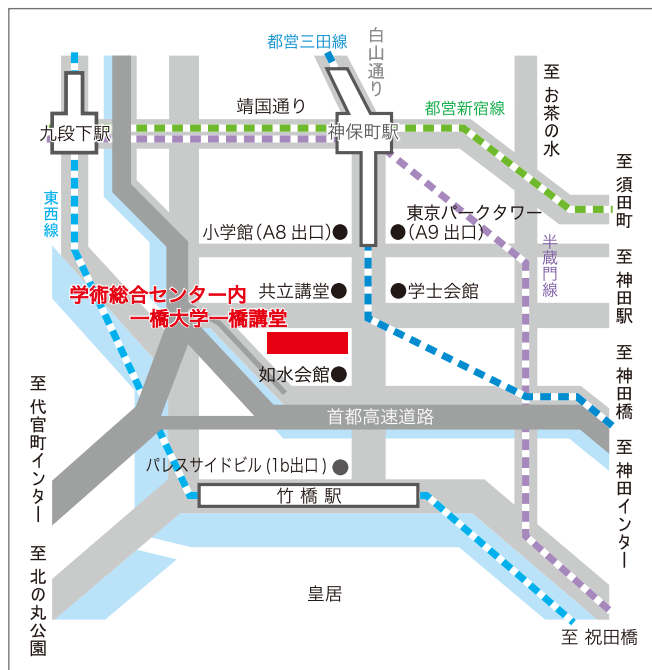
心疾患はわが国の3大死因のひとつであるが、高齢者のみならず、小児や若年者にも心不全や心臓突然死が起こることがある。これらの心臓病を中心に、心疾患の原因となる遺伝的要因の解明とその応用の現状を紹介する。

「放射線からDNAを守る仕組み」

東京工業大学 原子炉工学研究所 准教授 松本義久

放射線はDNAを傷つけることにより、さまざまな生物作用をあらわすと考えられている。DNAが傷ついたとき、細胞はどのようにして、自身、個体、そして子孫を守っているか。その研究の一端と、医療応用、放射線防護における意義についてお話したい。

会場案内



- 一橋講堂：学術総合センター内。如水会館の隣の建物
- 半蔵門線・三田線・新宿線「神保町駅」A9出口徒歩4分
- ※A8出口は近隣ビルの工事のため閉鎖中
- 東西線「竹橋駅」1b出口徒歩4分

FAX用参加申込書 (送付先:045-924-5970)

第9回 四大学連合文化講演会参加申込書

お名前 _____ 年齢 (_____ 歳)

所属先 _____

役 職 _____

ご住所 〒 _____

電話番号 _____

FAX _____

E-mail _____

お申込のきっかけ(番号に○を付けてください)

- ① 講演会のホームページを見て
- ② 日本経済新聞の記事・広告
- ③ チラシ・ポスターを見て
- ④ 大学からの案内(大学名等: _____)
- ⑤ その他(_____)

※お申込みいただいた個人情報は、本件以外の目的で使用することはありません。